

## 授業の様子（美術 I の授業の取り組みを紹介します）

### 1 1年生 「美術 I」遠近法について学習

空気遠近法について、学んだ授業の紹介です。

20～30年前のテレビゲームは、2Dでしたが、最近は3Dです。授業の導入として、その様子を実際にスクリーンに投影しました。

私たち人間は、二次元（X軸、Y軸）の紙の中に、三次元である、Z軸をどこまで伸ばせるか、それを追い求めているとの説明がありました。

その技法の一つとして、空気遠近法があり、その技法を体感するために、その特徴を捉えて、模写をするのが、本時の授業です。

空気遠近法による絵のうち、墨の濃淡で遠近を表す、長谷川等伯の松林図を模写します。

教科書の絵は小さいため、一人1台端末で検索し、大きな画面に表示し、その質感を踏まえながら、模写に取り組みました。（上の写真です。）

生徒たちは、微妙な濃淡を、どう表現するか、丁寧に作業を進めました。

下の写真は、これまで取り組んでいる、校内の様子（廊下など）を線遠近法により表現する課題の仕上げです。校内で思い思いの場所を撮影し、端末で表示させて、描いていきます。緻密さに驚かされました。

